

令和8年8月22日

令和8年度つながる鎌倉エール事業地域活性化コース 選考結果報告書

事業名		審査項目							合計	結果
		事業の公益性	事業内容	目的の設定	手段の適切性	費用の妥当性	継続性 発展性	先駆性 専門性		
1	学校外の子どもへ届ける包括的性教育アウトリーチ事業 － 助産師による地域連携モデル形成 －	4.0	7.3	4.0	3.8	3.3	4.0	4.0	30.3	採択
2	シュピーレン・つながるおとマルシェ	3.3	6.0	4.0	3.3	2.8	2.5	3.3	25.0	採択

※合計が24点以上の場合に審査選考を通過とする

鎌倉市市民活動推進委員会選考部会からの講評

1 学校外の子どもへ届ける包括的性教育アウトリーチ事業― 助産師による地域連携モデル形成 ―（鎌倉助産師会）

- ・大変重いテーマであり、事業として一度開始したら継続していくことが求められる。
- ・「助産師」という専門性を活かした取組内容となっており、また、団体だけで出来ることと他の組織との連携が必要なことの整理が出来ている点が評価できる。
- ・事業を実施する現場に参加出来ない人のために事例集を作るなど、当事者やその家族が能動的に情報を取りに行けるような仕組みについても検討してみてはどうか。
- ・鎌倉市の性教育のインフラとなることも期待できるため、いずれは市との協働事業として取り組めるよう事業継続のための仕組みづくりに努めてほしい。

2 シュピーレン・つながるおとマルシェ（NPO法人シュピーレン）

- ・昨年度スタートアップコースで事業実施した際に指摘された内容について改善されていた。
- ・事前に施設を訪問し関係を構築してから本番に臨むなど、スムーズに運営できるよう工夫されている。
- ・マルシェを開催すること自体が最終目的ではなく、団体としてのビジョンや本来の目的のためにマルシェをどう活かすかを検討してほしい。
- ・自分たちの専門性や強みを生かしながら、団体として社会から求められていることを再確認し事業を進めていってほしい。
- ・今回、地域活性化コースとして実施するという点を意識し、地域や他団体等と目的やビジョンを共有し横展開を図ってもらいたい。